

た + す + と

2010年5月

第12号

市民活動や地域活動をしている方、
これから活動したいと思っている方に
役立つ情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

- P 2～3 平成21年度年間利用状況報告
活用術付き！たがサポレポート2009
- P 4 地元企業による地域貢献・社会貢献活動調査結果報告会
まちと企業の幸せなカタチは、顔の見える関係から
- P 5 事務用ブース入居団体募集中
たがサポブックレビュー
『自分で調べる技術－市民のための調査入門』
- P 6 **たがサポ事業紹介**
『たがサポ』とは？
『たがサポ』の機能って？

今月のひとコマ



つながる小ひきだし

→詳しくは右のコーナーへ

「団体宛の郵便物が自宅に届いて仕分けに困るわ」。「自宅の住所を公開するのは気が引けるなあ」。市民活動団体の中には、特定の事務所がなく団体の住所が代表者の個人宅というケースが少なくありません。

たがサポ1階情報サロンにはレターケースと呼ばれる小さなボックスが設置されています。ここでは団体宛の郵便物(手紙・封書等)をお預かりして、各団体のレターケースにスタッフが取次ぎをします。また、団体のメンバー同士で書類の受け渡しに利用したり、他団体のレターケースにイベントの案内チラシを入れたり、使い方を工夫すればさらに便利です。

レターケースを利用してたがサポを団体の住所にすれば、安心して住所を公開することができます。たがサポ内では目立たない存在ですが、無料で利用できることもあり、とても重宝されているサービスの一つです。利用したいという方は、ぜひ1階受付スタッフまでご相談ください。

平成21年度年間利用状況報告

活用術付き!

たがサポレポート 2009

平成20年6月1日に開館したたがサポ。2年目の平成21年度は1年間で、延べ19,641人の方にご利用いただきました。

今回は、みなさんにどのように利用され、どのような事業を行ったのかをご報告します。あわせて、たがサポの活用術もご紹介します。

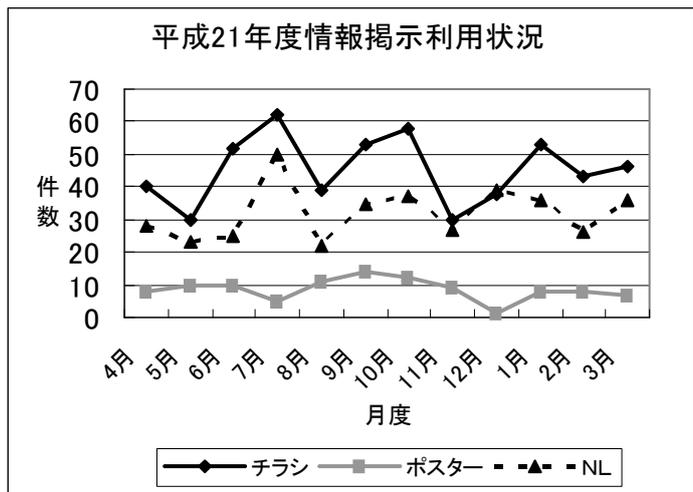
新しく多賀城に来た方や、これから何か活動してみたいという方、たがサポに来たことがないという方、ぜひご来館ください。

●年間1,031件の市民活動・地域活動のチラシなどが集まりました

チラシ：544件
ポスター：103件
ニューズレター：384件

総数：1,031件

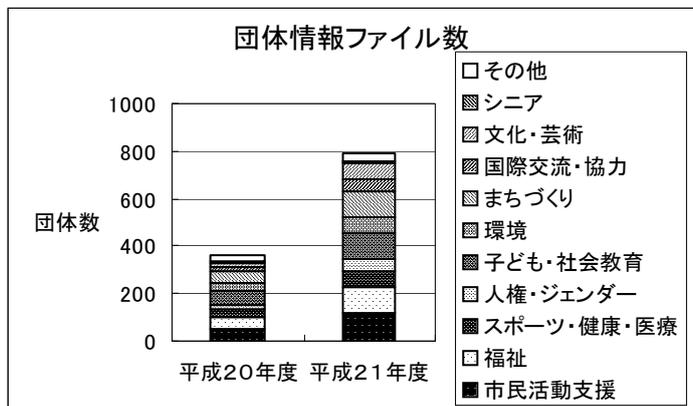
年間1,031件の市民活動・地域活動に関する情報が集まりました。活動をしている人にとっては「情報発信ができる場所」、情報を求めている人にとっては「いつ来ても新しい情報が得られる場所」としてたがサポを活用いただいています。



●786の市民活動団体情報がそろいました

団体情報ファイルの数は、前年度の2倍以上となる786団体に増えました。

地域別では、県内（多賀城市・塩釜市・利府町・七ヶ浜町・松島町の二市三町を除く）が411団体、二市三町が67団体となっています。開館時に比べて、二市三町で活躍する団体情報も増えつつあります。分野別では「市民活動支援」「福祉」「子ども・社会教育」「まちづくり」の団体が特に増えています。



★たがサポ活用術 1★

市民活動や地域づくりに関する情報が得られます。「何かやってみたい」「イベントに参加してみたい」「住んでいる地域の情報が知りたい」ときは、ぜひご来館ください。特にこの時期、転勤や進学で新しく多賀城に来た方にも役立つ情報があります。

★たがサポ活用術 2★

市民活動団体の方は、団体紹介パンフレット、イベント告知のチラシ、メンバー募集のポスター、定期的に発行している情報誌などをたがサポにお持ちください。チラシ・ポスターコーナーに掲示します。掲示期間が終了したものは、団体情報ファイルにストックされ、来館者が自由に閲覧することができます。団体の情報を発信することで、一緒に活動する仲間が増えたり、協力してくれる相手が見つかるかもしれません。

★たがサポ活用術 3★

自治会・町内会の方は、定期的に発行している情報誌をお持ちください。自治会・町内会ごとにファイリングしており、各地区の活動の様子がわかります。他の地区との情報交換にも活用できます。

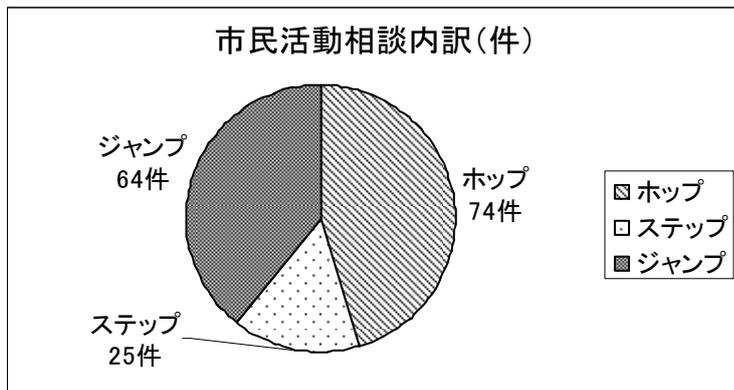
開館2年目のたがサポのひとコマ



●相談・問い合わせは年間309件

平成21年度は、年間309件の市民活動に関する相談・問い合わせが寄せられました。相談の内容は次の3つに分類されます。

- 【ホップ】NPOについての基礎的な情報提供、ボランティア相談、市民活動団体の情報提供など
- 【ステップ】任意団体立ち上げやNPO法人化に関する相談
- 【ジャンプ】資金調達、広報など団体運営に関する相談



★たがサポ活用術4★
 「何か活動してみたい」「活動しやすくするコツを知りたい」など、市民活動・地域活動に関する相談・問い合わせにスタッフが無料で対応しています。いつでもお気軽にどうぞ。

平成21年度はこんな相談が多く寄せられました。

◎環境をテーマに活動をしている団体を知りたい!

→分野別に収集している団体情報ファイルの情報をもとに、団体の連絡先や活動の内容をご紹介します。

◎新しく団体を立ち上げて、活動を始めたい!

→活動を始めるのに必要な仲間づくり方、団体の運営のコツなど、スタッフがいちからアドバイスしています。

◎市民活動団体や町内会で実施するイベントの運営のコツを教えてください!

→イベントの企画や広報先の紹介、チラシの作り方、イベント終了後のふりかえりなど、スタッフがイベント成功に向けて継続的に対応しています。

●講座ではすぐに役立つノウハウを提供

これから活動したい方やすでに活動している方へ向けた講座を企画しました。

1周年記念事業では、市民活動団体をゲストに招き、参考になる取り組み事例を学びました。参加者からは「市民活動が具体的にイメージできた」「活動のヒントを得た」との声が多く寄せられました。

また、NPOいちから塾では「NPOの基礎知識がわかった」、団体運営のノウハウを提供するマネジメント講座では「わかりやすい内容で、活動にすぐ役立つ」との感想をいただきました。

今年度は、団体・企業・市の各部署とつながりをさらに強め、「自分たちの住むまちを自分たちで暮らしやすくしていこう」というみなさんの思いや活動を応援していきます。実施する事業については、6ページをご覧ください。

平成21年度地元企業による地域貢献・社会貢献活動調査結果報告会

まちと企業の幸せなカタチは、顔の見える関係から

2月22日「まちと企業の幸せなカタチ～地域貢献活動で高める！経営力と地域力」を開催しました。これは、前号の記事でご紹介した「平成21年度地元企業による地域貢献・社会貢献活動調査」の結果報告会として企画したものです。調査概要をお知らせするとともに、市内で参考となる取り組みをしている企業をお招きしてパネルディスカッションを開催しました。

■信頼される企業とは…地域から信頼され、地域とともに育つ企業

冒頭に、講師の紅邑さんから、ある企業の取り組み事例をもとに、企業による地域貢献活動の意義について講演をいただきました。この企業は、賃貸住宅が多くゴミの目立つ場所に本社がありました。そこで、地域清掃を開始し、社員の意見や提言を活かしつつ、経営者が本腰を入れてこの活動を推進しました。その結果、地域から厚い信頼を得、市民からの感謝の言葉は社員のモチベーションを向上させたそうです。

地域や社会の課題に着目し、解決に向けた地域貢献活動に取り組むことで、企業は地域を支える一員となります。そのとき市民から企業への社会的な信頼と絆が生まれます。

「住み心地がよく、安心して暮らせるまちには、元気に地域貢献活動に取り組む企業が必ずある」との紅邑さんの言葉に、参加者のみなさんは深くうなずいていました。



■9割が「今後も継続」 地域活動を支える地元企業

続いて、センター長の工藤からアンケート調査の結果報告を行いました。アンケートは多賀城・七ヶ浜商工会と仙塩工場多賀城地区連絡協議会の協力のもと、多賀城市内1,033ヶ所の事業所を対象に実施しました。大企業だけでなく、中小企業や個人商店も対象とし、NPOや町内会などとの関わりにつ

日時:平成22年2月22日(月)午後1時30分～4時30分
会場:多賀城市市民活動サポートセンター大会議室
講師:特定非営利活動法人
 せんだい・みやぎNPOセンター
 常務理事・事務局長
 CSR推進相談所所長 紅邑晶子さん
ゲスト:新日本石油精製(株)仙台製油所
 総務グループマネージャー 中村延幸さん
 東北労働金庫多賀城支店長 北 尚登さん

いても調べました。その結果、回答企業の80%以上が地域貢献活動に取り組み、その90%以上が今後も継続すると答えました。一方、それらの約半数が「成果の手ごたえがない」との手詰まり感を抱いている状況が浮き彫りとなりました。

また、回答企業の地域貢献活動の多くは町内会を対象としているものが多く、経営者個人としても役員や会員として労力を提供している実態が明らかとなりました。

■地域との「対話」と「交流」が成功へのカギ

続くパネルディスカッションでは、参考事例の紹介として2つの企業からゲストをお招きしました。

新日本石油精製(株)仙台製油所の中村さんからは、昨年1,700人以上の参加者を集めた『ENEOSふれあいフェスティバル』や、利府町で進めている『ENEOSの森』森林保全活動、さらにスポーツ大会や環境ボランティア活動など、地元住民との交流をテーマに多彩な取り組みについてご紹介いただきました。

東北労働金庫多賀城支店の北さんからは、お客様へ提供する景品を市内の授産施設と協働して開発した経緯や、当センターと協働し店内に地域情報を提供するコーナーを設置した事例などをご紹介いただきました。

どちらの取り組みも地域との「対話」と「交流」を大切にしており、「顔の見える関係」の積み重ねが地域の一員としての信頼獲得につながることを示していました。

予想をはるかに上回る参加者が押し寄せた今回の企画。詳細は4月中に当センターホームページ等で公開する報告書をご覧ください。

事務用ブース 入居団体募集中



市民活動共同事務室の事務用ブースに入居する団体を募集いたします。

◆入居期間

平成22年6月1日～平成23年5月31日
※上記期間は第1期の入居期間です。
最長で3年間の入居が可能です。
※年度更新にあたっては毎年審査を実施します。

◆募集期間

平成22年5月11日（火）まで

◆使用料

1ヵ月当たり1,000円

◆申込方法

申請に必要な書類はたがサポ窓口でお渡しします。たがサポにご来館の上、お申し込みください。

◆審査会

申請団体を対象に審査会を行います。
日時：平成22年5月15日（土）18：00から

<事務用ブースとは？>

市民活動団体の簡易事務所として活用できるスペースです。パーテーション（仕切り板）で仕切られたブースに事務机とイスを備えています。ブースの広さは約4㎡です。使用可能期間の上限となる3年間、たがサポが団体の運営をサポートします。

たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



『自分で調べる技術』

—市民のための調査入門—

著者：宮内泰介

発行：岩波書店 発行日：2004年7月



★L-005ハウツーの棚にあります

私たちはわからないことがあった時、インターネットで検索すれば簡単に情報が得られます。また、情報は絶えず新聞やテレビなどから発信されています。しかし、その情報は本当に正しい情報なのでしょうか？

この本では、物事の本質を知るための調べ方を紹介しています。調べる方法は、本、雑誌、新聞記事、統計データ、インターネット、アンケート、聞き取りなど、さまざまなも

のがあります。それぞれの特徴や調べる手順、注意点、お役立ち情報がこの本には載っています。

調査と聞くと大学や研究機関など専門家が行うものというイメージがあります。しかし、地域や社会の課題に気づき、自分たちの手でその解決をめざす市民活動団体にこそ「調べる力」が必要だ。この本に書かれています。市民活動団体が持つ使命感や思いにプラスして客観的なデータを味方にすれば、ひとりよがりの活動で終わることなく、信頼を得て活動し、やがて地域や社会を変える力を手に入れることができるのです。

団体に活動していなくても、私たちの日常生活の中で「調べる」ことは、私たちをとりまく社会を考えるために必要なことです。「調べる」ことをもっと身近に使いこなすための一冊。

【スタッフ 中津涼子】

■たがサポ文庫

情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書（報告書、パンフレット等）を販売しています。

詳しくは窓口までお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらえる機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことによって、団体の活動を詳しく知ることができ、資金面での支援にもつながります。



たがサポ事業紹介



平成22年度に実施する予定の事業をご紹介します。みなさんの活動に役立つものを企画中です。詳しい内容や日程が決まったところで、チラシやホームページ、ブログなどでお知らせします。

- 丘の上まちづくりフェスティバル（仮）
丘の上がお祭りの会場に！市民活動や地域活動を体感できるイチオシのイベントです。

- さぼせん広場
たがサポ出前プロジェクト！
たがサポがみなさんのお住まいの地区やイベントに出前します。たがサポの活用術や団体の活動を紹介します。



- さぼせんカフェ
地域で活動している方々をお招きし、気軽にお茶を飲みながら活動のヒントやコツなどを聞く場を提供します。

- 地域づくりいちから塾
市民活動に関する基礎知識を学び、地域づくりに一歩踏み出すきっかけをつくる講座を開催します。

- 地域づくりパワーアップ講座
市民活動団体をはじめ地域づくりの活動をしている方を対象に、団体運営や活動に役立つノウハウを提供します。

- 「おつきあい」から一歩前へ
～地域貢献を活かす商い（仮）
企業の地域貢献・社会貢献活動と地域づくり活動をつなげるシンポジウムを開催します。

その他に、共同事務室入居団体を対象とした市民活動共同事務室入居団体交流会や、市職員を対象とした協働に関する研修も行います。
みなさんのご参加をお待ちしています！

■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

- 開館時間：月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
- 休館日：毎週水曜日（水曜日が休日の場合、翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）
- 交通案内：JR仙石線多賀城駅より徒歩12分
駐車場・駐輪場があります

■『たがサポ』の機能って？

- ①市民活動の場の提供
 - ・貸室（有料）
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
 - ・交流サロン（予約不要・無料）
少人数の打合わせや事務作業などに利用できます。
 - ・レターケース（無料） ※利用申込受付中
 - ・ロッカー（200円/月） ※利用申込受付中
 - ・事務用ブース（1,000円/月）
 - ・印刷作業室
印刷機（用紙持ち込み/1製版100円/500枚）
コピー機（10円/枚）
 - ②市民活動に関する情報の収集・提供
 - ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書（閲覧用）、
助成金情報、ボランティア情報、パソコン
（作業・インターネット用/無料）
- ※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！
- ③市民活動に係る人材の育成・支援
 - ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
 - ⑤市民活動に関する相談への対応



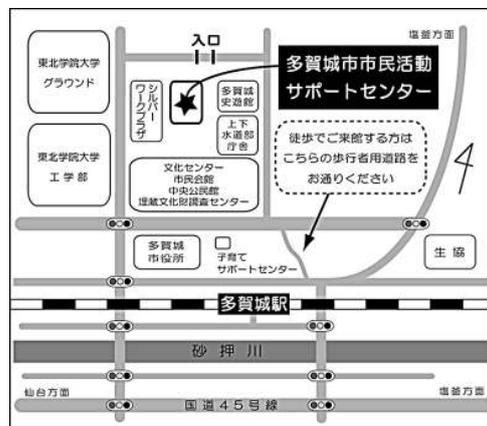
多賀城市市民活動サポートセンター
公式ホームページ
<http://www.tagasapo.org/>
事務局スタッフブログ
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

ぜひチェック
してくださいね

■たがサポは皆さんに支えられています

□自動販売機の設置
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業：宮城中央ヤクルト販売（株）

□印刷作業室のコピー機
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社との市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



- 発行：多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
TEL: 022-368-7745 FAX: 022-309-3706
- 発行日：2010年4月20日
- 編集：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター